

京城日報
五月十五日(日)
帳簿

匪賊の跳梁状況を 日本が聯盟に報告 満鐵附近で四十日間 二千百餘回の襲撃

【東京十四日電】日本代表は十四日、滿鐵附近に於ける匪賊の跳梁状況を聯盟に報告した。報告は、三月一日から四月十五日までの間に、滿鐵附近に於ける匪賊の襲撃は、四十日間、二千百餘回に達したと報告した。報告は、匪賊の襲撃は、滿鐵附近に於ける匪賊の襲撃は、四十日間、二千百餘回に達したと報告した。

ポケット内の撤収 十六日正午迄に完了 陸戦隊から発表

【東京十四日電】陸戦隊は十四日、ポケット内の撤収が十六日正午迄に完了したと発表した。撤収は、ポケット内の撤収は、十六日正午迄に完了したと発表した。

上海、吳淞地方の 復舊管理委員會 國務會議で任命案決定 委員長には宋子文

【上海十四日電】上海、吳淞地方の復舊管理委員會の任命案が國務會議で決定された。委員長には宋子文が任命された。

上海米派遺隊 マニラに歸還

【マニラ十四日電】上海米派遺隊がマニラに歸還した。派遺隊は、上海米派遺隊がマニラに歸還した。

秘露、メキシコ 外交斷絶 メキシコ公使引揚げ

【ワシントン十四日電】秘魯とメキシコの間で外交關係が斷絶された。メキシコ公使は引揚げられた。

大無電台 増設に決す

【東京十四日電】大無電台の増設が決定された。増設は、大無電台の増設が決定された。

王正廷の 返答を待てる 紐育市場軟調

【上海十四日電】王正廷の返答を待てる。紐育市場は軟調である。

行政整理の 退職資金 最後の決定を見 愈々臨時議會に提出

【東京十四日電】行政整理の退職資金の最後の決定を見。愈々臨時議會に提出される。

金村附近で 列車顛覆 犯人嚴懲中被害なし

【金村十四日電】金村附近で列車が顛覆した。犯人は嚴懲中、被害はない。

朝鮮無盡總會第二日 正副會長共に重任 午後より會場は五龍背

【平壤十四日電】朝鮮無盡總會の第二日。正副會長共に重任を負う。午後より會場は五龍背に移る。

我が空軍の新威力 川西製大飛行艇 海軍航空隊に採用

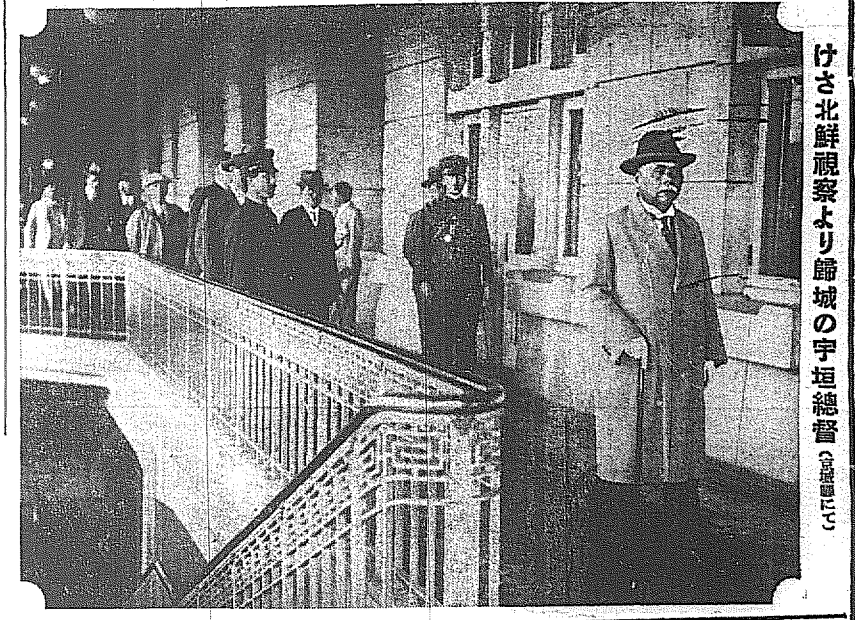
【東京十四日電】我が空軍の新威力。川西製大飛行艇が海軍航空隊に採用された。

愛國機成の 宇垣總督告辭

【東京十四日電】愛國機成の宇垣總督が告辭した。

北鮮視察を了へて 宇垣總督けふ歸城 「北鮮一帯はまなく 開拓の餘地充分」と語る

【東京十四日電】北鮮視察を了へて宇垣總督が歸城した。宇垣總督は「北鮮一帯はまなく開拓の餘地充分」と語る。



けさ北鮮視察より歸城の宇垣總督(右端に)

愛國朝鮮號から
感謝の挨拶
山田中佐、秀島大尉が本社を通じて
貴族院議員
菊地武夫氏
けさ入城す

永年苦んだ難症の 淋病を自宅で 治した偽らざる告白

東京 栗原 武雄

淋病は、永年苦んだ難症である。しかし、自宅でも治すことができる。この告白は、淋病を治した偽らざる告白である。

安田銀行
支店 京城
品取扱店
堂海南黒大
日三町天海山各
番五〇四一・一三・一四・一五

科外
院病村植
日三町天海山各
番五〇四一・一三・一四・一五

店鏡眼堂學大
日三町天海山各
番五〇四一・一三・一四・一五

災火鮮朝
城京鮮朝店本



第 二 外 第 號

發行所 東京市本町二丁目
合資会社 東京毎日新聞社
支店 東京市本町二丁目
電話 二〇〇〇番
編輯部 東京市本町二丁目
印刷部 東京市本町二丁目
印刷人 小川三之介

閣僚全部の辭表捧呈

十六日午前十一時急報 高橋臨時首相は十六日午前十一時參内閣僚全部の辭表を捧呈した

後繼内閣の見極めつかず

【東京電】政友會は後繼總裁に高橋清氏を推戴し時局に善處せんとする模様であるが、後繼内閣は高橋内閣の再出現か、舉國一致内閣の成立を見るか見極めつかぬ、或は時局重大性に鑑み重臣會議が開かれるかも知れぬ

痛恨だけでは 責任をも痛感する

沈痛の面持て

宇垣總督語る

國家の一大損失

支那問題紛糾の今日

遺憾の極み

殊に陸軍人々を統督
指導に當つたにけ

閣僚の辭表は、昨午十一時、高橋臨時首相に捧呈された。高橋氏は、この辭表を受け、沈痛の面持で、閣僚の責任を痛感する。特に陸軍人々を統督する指導に當つたにけ、と語った。高橋氏は、この辭表を受け、沈痛の面持で、閣僚の責任を痛感する。特に陸軍人々を統督する指導に當つたにけ、と語った。

支那問題紛糾の今日、國家の一大損失。宇垣總督は、この辭表を受け、沈痛の面持で、閣僚の責任を痛感する。特に陸軍人々を統督する指導に當つたにけ、と語った。

流言蜚語は 嚴重取締る

【東京電】内閣は、昨午、閣僚の辭表を受け、沈痛の面持で、閣僚の責任を痛感する。特に陸軍人々を統督する指導に當つたにけ、と語った。

議會への影響

大した事はあるまい

今井田政務總監談

今井田政務總監は、昨午、閣僚の辭表を受け、沈痛の面持で、閣僚の責任を痛感する。特に陸軍人々を統督する指導に當つたにけ、と語った。

爆彈事件の被害

内務省より公表す

【東京急電】十五日の爆彈事件に關し内務省では左の如く發表した。一、日銀に於ける被害。午後五時四十分頃日銀に不明者(人員及行爲者不明)來たり、爆彈二個を投じて逃走、硝子窓を破壊したのみ。二、政友會本部に於ける被害。午後五時二十五分頃爆彈一個を投じたる者あり、コンクリート敷き上に些細の穴を生じたのみ、詳細不明。三、首相官邸に於ける被害。午後五時四十分頃二臺の自動車に分乗した陸軍軍人來り、一臺には海軍大尉一名、同中尉二名、憲兵軍曹三名同乗し、警戒中の巡査を狙撃し二名の巡査は重傷を負ふた。右侵入者はそのまゝ官邸内に進み首相居室に於てピストル一發を發射して首相に貫通銃創を與へ逃走した。四、牧野内府邸の被害。午後五時二十五分海軍少尉一名陸軍兵五名自動車にて乗りつけたので、請願巡査が誰何した處強いて侵入せんとしたから取押へんとした他の一名がピストルを放ちて同巡査を負傷せしめて邸内に侵入、玄關の三、四間手前て手榴彈を投じ爆破せしめ更に一個を投じたが不發に終つた。